

評価項目	中期目標期間業務実績に係る意見等																委員評価に当たっての意見・指摘等													
	R元法人自己評価				R2法人自己評価				R3法人自己評価				R4法人自己評価					法人自己評価				委員評価								
	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合		精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合					
1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置																														
1 質の高い医療の提供																					石岡 副委員長									・2病院ともに専門領域に特化した診療機能を担いながら、高度・専門医療の提供に努めていた。
																					井深 委員									
																					郷内 委員									
																					佐藤 (和) 委員 (裕) 委員									・質の高い医療を提供するための様々な取組は評価できるが、コロナ禍、施設の老朽化、病院再編問題等の影響を受けて前向きな対応が進まなかったと思われる。
																					菅原 委員									・精神医療センターでは、精神科救急、慢性期診療、法的措置を必要とする患者への対応等、幅広くかつ専門的な精神医療の提供を維持してきたと評価できる。 ・がんセンターでは、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、適切に対策し、目標を上回る専門医療の提供と、地域医療との連携と貢献を行ってきたと評価できる。
																				富田 委員										
																				富永 委員長										

評価項目	中期目標期間業務実績に係る意見等																														
	R元法人自己評価				R2法人自己評価				R3法人自己評価				R4法人自己評価				法人自己評価				委員評価				委員評価に当たっての意見・指摘等						
	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合							
(1) 政策医療、高度・専門医療の確実な提供																										石岡 副委員長	B	B			【がんセンター】 ・目標水準を「遙かに上回る」とは言えない。他の全がん協病院と比較して平均的(他の全がん協病院のうち、がん専門病院と比較すると研究費獲得は平均以下)。
																									井深 委員	B	A			【精神医療センター】 ・県内唯一の「精神科救急入院料算定病棟(スーパー救急)」の効率的な運用を図るため、定期的なカンファレンスを行うことでペッドコントロールを行いながら、民間病院では対応困難な患者の受け入れに努めていた。 【がんセンター】 ・がんの種類や患者の状況に応じて、手術、放射線治療、化学療法による最適な治療やチームによる緩和ケアを提供していた。	
																									細内 委員	B	A				
																									佐藤 (和) 委員	B	A				
		B	A																							佐藤 (裕) 委員	C	B			【精神医療センター】 ・多くの項目で目標とする指標を下回った結果となっている。施設の老朽化や再編問題が影響しているのかもしれない。医療従事者の士気を維持できるような体制づくりが必要である。 【がんセンター】 ・目標とする指標を達成した場合と下回った場合が混在していた。 ・集学的治療も進んでおり、高度かつ良質な医療の提供ができていたと思う。
																									菅原 委員	B	A				
																									富田 委員	B	A			【精神医療センター】 ・自己評価の内容は妥当と思われる。 【がんセンター】 ・自己評価の内容は妥当と思われる。	
																									高永 委員長	B	A				
																								県	B	A			【精神医療センター】については、県の精神科医療の基幹病院として、精神科救急医療の提供や地域移行・地域定着支援に着実に取り組んでおり、目標を達成していると評価し、Bと判定した。 【がんセンター】については、患者の状況に応じた適切な医療の提供や緩和ケアの推進などに取り組み、新型コロナウイルス感染症の影響がある中で、がん医療を確実に提供したことから、目標を上回る成果があると評価し、Aと判定した。		

評価項目	中期目標期間業務実績に係る意見等																				委員評価に当たっての意見・指摘等						
	R元法人自己評価				R2法人自己評価				R3法人自己評価				R4法人自己評価				法人自己評価					委員評価					
	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合		精神医療C	がんC	本部	総合		
(2) 医療機器、施設の計画的な更新・整備	B	A			B	B			B	B			B	B			B	B			石岡 副委員長	C	B			【精神医療センター】 ・病院の建替をはじめ施設設備の老朽化が大きな課題で解決の目処が立たない(第1回精神保健福祉審議会での施設長の発言にあるように、課題がある)。	
																					井深 委員	B	B			【精神医療センター】 ・良質な医療提供や医療水準の向上を図るための設備更新については、収支バランスの検証を行いながら、計画的に設備の入れ替えを行っていた。 【がんセンター】 ・高度・専門医療を担う病院として、良質な医療提供や医療水準の向上を図るための設備更新については、収支バランスを考慮し、計画的に設備の入れ替えを行っていた。	
																					郷内 委員	C	A				
																						佐藤 (和) 委員	B	B			
																						佐藤 (裕) 委員	C	B			【精神医療センター】 ・再編問題を抱え、抜本的な更新・整備ができなかったのはやむを得ない。施設の修繕等も必要最小限のものに限られたがやむを得ない。 【がんセンター】 ・医療機器については計画的な更新・整備が進められたと思う。
																						菅原 委員	B	B			
																						富田 委員	C	B			【精神医療センター】 ・機構のみの責任とは言えないにせよ、宮城県・機構とで進めている建替えの計画が、より早期に関係者からの意見聴取・調整が十分になされてこなかったこともあって、現在に至るまで方針の目的が立たず、そのために施設の更新・整備の状況が不十分なままとなり、利用者に不利益をもたらしていると言わざるを得ない現状がある以上、C評価が妥当ではないだろうか。 【がんセンター】 ・自己評価の内容は妥当と思われる。
																						富永 委員長	B	B			
																					県	C	B			【精神医療センター】については、計画的に医療機器、施設の更新・整備を行っているものの、施設の老朽化が進んでいる状況であり、目標の水準を上回る成果があるとは認められないため、Cと判定した。 【がんセンター】については、経営健全化の観点から収支バランスを考慮し、計画的な医療機器等の更新・導入及び施設の整備を行っていることから、目標を達成していると評価し、Bと判定した。	

評価項目	中期目標期間業務実績に係る意見等																				委員評価に当たっての意見・指摘等				
	R元法人自己評価				R2法人自己評価				R3法人自己評価				R4法人自己評価				法人自己評価					委員評価			
	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合		精神医療C	がんC	本部	総合
(3) 地域医療への貢献																									<p>【がんセンター】</p> <p>・目標水準を「遙かに上回る」とは言えない。他の全がん協病院と比較して平均的(他の全がん協病院のうち、がん専門病院と比較すると研究費獲得は平均以下)。</p> <p>【精神医療センター】</p> <p>・地域医療連携室を中心に他の医療機関との連携を強化し、受診・入院の受入等を図るとともに、退院支援につながる地域連携クリティカルパスに準じた対応に努めていた。</p> <p>【がんセンター】</p> <p>・新規に開業した地域の医療機関等に対して、病院との連携を深める目的で登録医制度を積極的に推進し、登録数の積み上げを図っていた。</p> <p>【精神医療センター】</p> <p>・患者の紹介率、逆紹介率については年度によって達成した場合と下回った場合があった。</p> <p>【がんセンター】</p> <p>・患者の紹介率、逆紹介率については目標を達成した年度が多かった。がんセンターの存在の大きさが認められる。</p> <p>【精神医療センター】</p> <p>・自己評価の内容は妥当と思われる。</p> <p>【がんセンター】</p> <p>・自己評価の内容は妥当と思われる。</p> <p>【精神医療センター】については、地域の医療機関との病病・病診連携に取り組み、患者の紹介率・逆紹介率の向上につなげていることから、目標を達成していると評価し、Bと判定した。</p> <p>【がんセンター】については、登録医制度の活用や広報誌による地域医療機関の紹介など、地域医療機関との連携を積極的に推進し、紹介率・逆紹介率が向上していることから、目標を上回る成果があると評価し、Aと判定した。</p>

評価項目	中期目標期間業務実績に係る意見等																										
	R元法人自己評価				R2法人自己評価				R3法人自己評価				R4法人自己評価				法人自己評価				委員評価				委員評価に当たっての意見・指摘等		
	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合			
(4) 医療に関する調査・研究と情報の発信	A	B			B	B			B	B			B	B			B	B			石岡 副委員長	B	B				【精神医療センター】 ・東北大学大学院医学系研究科と連携し、研究・診療に従事する専門的人材育成に取り組んでいた。 【がんセンター】 ・ホームページを適宜更新するとともに、当センターの総合がん検診や診療情報、職員募集情報及び各部門紹介について最新情報に更新するよう努めていた。
																					井深 委員	B	B				
																					部内 委員	B	B				
																					佐藤 (和) 委員	B	B				
																					佐藤 委員	B	B			【精神医療センター】 ・調査・研究の推進や医療相談会の開催は一定の規模で実施されていたが、学会への参加や関係機関への情報発信が低調だったのは、コロナ禍の下でもあり医療関係者に余力がなかったと思われる。 【がんセンター】 ・調査・研究は着実に進められていたが、コロナ禍の下でもあり外部への発信は思うとおりにできなかった。	
																					菅原 委員	B	B				
																					富田 委員	B	B			【精神医療センター】 ・自己評価の内容は妥当と思われる。ただし、調査・研究に関しては、県の精神科救急や重症精神疾患診療の拠点であることと、専門医プログラムや東北大学との連携大学院制度などを活かして、より良い医療の体制整備に向けて調査研究をより活性化し、また、若手精神科医師の調査研究能力の育成を、現在以上に活発に行うと良いと思われる。 【がんセンター】 ・自己評価の内容は妥当と思われる。	
																					富永 委員長	B	B				
県	B	B			【精神医療センター】については、調査・研究を推進するとともに、医療相談会の開催や広報活動の実施、学会参加等に取り組んでおり、目標を達成していると評価し、Bと判定した。 【がんセンター】については、調査・研究を推進するとともに、医療機関向けのセミナーの開催や学会参加、がんゲノム医療に関する情報収集等に取り組んでおり、目標を達成していると評価し、Bと判定した。																						

評価項目	中期目標期間業務実績に係る意見等																				委員評価に当たっての意見・指摘等					
	R元法人自己評価				R2法人自己評価				R3法人自己評価				R4法人自己評価				法人自己評価					委員評価				
	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合		精神医療C	がんC	本部	総合	
2 安全・安心な医療の提供																									<p>【精神医療センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標水準を「遙かに上回る」とは言えない。</li> <li>【がんセンター】</li> <li>・目標水準を「遙かに上回る」とは言えない。</li> </ul> <p>【精神医療センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療従事者を対象とした研修会を開催し、資質向上に努めるとともに、ヒヤリハット事例等を基に医療安全カンファレンスで情報共有を図り、事故防止に努めた。</li> <li>【がんセンター】</li> <li>・医療事故防止に向けて、院内医療事故検討委員会や医療事故調査委員会を開催し、内容の分析や改善立案を行っていた。</li> <li>【本部】</li> <li>・各病院のインシデント等の発生状況を取りまとめ、情報共有に努めていたほか、医療安全管理指針に基づいた情報開示を徹底していた。</li> </ul> <p>郷内委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A A B A</li> </ul> <p>佐藤(和)委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A A B A</li> </ul> <p>【精神医療センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きちんと対策に取り組み、安全・安心な医療を提供できていた。</li> <li>【がんセンター】</li> <li>・きちんと対策に取り組み、安全・安心な医療を提供できていた。</li> <li>【本部】</li> <li>・安全・安心な医療の提供のためにきちんと調整を行った。</li> </ul> <p>菅原委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>【精神医療センター】</li> <li>・新型コロナウイルス感染症への対応を積極的に行い感染拡大を予防し、目標を上回る時期があったが、4年間全体としては、確実安全な医療サービス提供の検討会議が実施され目標を達成しているBと評価できる。</li> <li>【がんセンター】</li> <li>・新型コロナウイルス感染症への対応を積極的に行い感染拡大を予防し、目標を上回る時期があったが、4年間全体としては、確実安全な医療サービス提供の検討会議が実施され目標を達成しているBと評価できる。</li> </ul> <p>富田委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>【精神医療センター】</li> <li>・自己評価の内容は妥当と思われる。</li> <li>【がんセンター】</li> <li>・自己評価の内容は妥当と思われる。</li> <li>【本部】</li> <li>・自己評価の内容は妥当と思われる。</li> </ul> <p>高永委員長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・B A B B</li> </ul> <p>県</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・精神医療センターについては、医療安全対策や院内感染症対策の推進、適切な情報管理に努め、安全・安心な医療の提供を行っており、目標を達成していると評価し、Bと判定した。</li> <li>・がんセンターについては、研修会の開催や医療安全マニュアルの見直しなどにより、医療安全対策を推進するとともに、新型コロナウイルス感染症対策や情報管理等に適切に対応しており、目標を上回る成果があると評価し、Aと判定した。</li> <li>・本部事務局については、各病院のインシデント等の発生状況の情報発信や適切な情報管理、院内感染症対策の推進などに努めており、目標を達成していると評価し、Bと判定した。</li> <li>・上記より、総合してBと判定した。</li> </ul>	
		B	B	B	B	B	A	B	B	A	A	B	A	A	A	B	A	A	A	B	A					

評価項目	中期目標期間業務実績に係る意見等																														
	R元法人自己評価				R2法人自己評価				R3法人自己評価				R4法人自己評価				法人自己評価				委員評価				委員評価に当たっての意見・指摘等						
	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合							
3 患者や家族の視点に立った医療の提供	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B		石岡 副委員長	B	B	B	B	【精神医療センター】 ・精神疾患患者に対する行動制限を行う場合には、本人とその家族に対してより丁寧な説明を心掛けていた。 【がんセンター】 ・オンラインでセカンドオピニオンを受けることができる体制を整備していた。 ・待ち時間調査を実施し、初診・再診の患者ごとに分析結果を見える化し院内周知を図っていた。 【本部】 ・新任職員研修において接遇研修を実施し、新任職員の必要な接遇スキルの習得に努めていた。
																									井深 委員	B	B	B	B		
																									細内 委員	B	B	B	B		
																									佐藤 (和) 委員	B	B	B	B		
																									佐藤 (裕) 委員	B	B	B	B	【精神医療センター】 ・施設が老朽化している中で、様々な工夫を行った。 【がんセンター】 ・駐車場の増設は有意義だった。	
																									菅原 委員	B	B	B	B		
																									富田 委員	B	B	B	B	【精神医療センター】 ・自己評価の内容は妥当と思われる。 【がんセンター】 ・自己評価の内容は妥当と思われる。 【本部】 ・自己評価の内容は妥当と思われる。	
																									高永 委員長	B	B	B	B		
																									県	B	B	B	B	・2病院については、インフォームド・コンセントの徹底やセカンドオピニオンの実施のほか、病院利用者の利便性・快適性の向上のため、接遇研修の実施や食事療養の充実などに取り組んでおり、目標を達成していると評価し、Bと判定した。 ・本部事務局については、病院利用者の利便性・快適性の向上のため、新任職員に対する接遇研修の実施などに取り組んでおり、目標を達成していると評価し、Bと判定した。 ・上記より、総合してBと判定した。	





評価項目	中期目標期間業務実績に係る意見等																													
	R元法人自己評価				R2法人自己評価				R3法人自己評価				R4法人自己評価				法人自己評価				委員評価				委員評価に当たっての意見・指摘等					
	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合						
5 災害等への対応																										石岡 副委員長	B	B	B	B
																									井深 委員	A	A	A	A	【精神医療センター】 「宮城県立精神医療センター消防計画」に基づき、災害発生に備え、消防訓練を2回実施していた。 【がんセンター】 ・防火・防災訓練を実施したほか、感染症対策としての災害対策マニュアルを整備していた。 【本部】 ・職員の安否確認システムの活用訓練や無線機の通信訓練を行うなど、災害時における通信方法の確認を行っていた。
																									郷内 委員	A	A	A	A	
																									佐藤 (和) 委員	A	A	A	A	
																									佐藤 (裕) 委員	B	B	B	B	【精神医療センター】 ・コロナ患者の受け入れは高く評価できる。ただし、令和4年度にクラスターが発生したことは残念だった。 【がんセンター】 ・コロナ患者の受け入れは高く評価できる。ただし、令和4年度にクラスターが発生したことは残念だった。 【本部】 ・コロナに関する職員派遣や患者受け入れの調整に尽力した。
																									菅原 委員	B	B	B	B	【精神医療センター】 ・必要な災害対策における検討会議が実施されている。新型コロナウイルス感染症が急激に拡大した時期にはその対応を積極的に、感染症への対応を確立し維持できるようになってきている。4年間全体としては、目標を上回る状況ではなく、目標を達成していると評価できる。 【がんセンター】 ・必要な災害対策における検討会議が実施されている。新型コロナウイルス感染症が急激に拡大した時期にはその対応を積極的に、感染症への対応を確立し維持できるようになってきている。4年間全体としては、目標を上回る状況ではなく、目標を達成していると評価できる。 【本部】 ・必要な災害対策における検討会議が実施されている。必要な事項を実施し維持され、目標を達成していると評価できる。
																									富田 委員	A	A	A	A	【精神医療センター】 ・自己評価の内容は妥当と思われる。 【がんセンター】 ・自己評価の内容は妥当と思われる。 【本部】 ・自己評価の内容は妥当と思われる。
																									高永 委員長	B	B	B	B	
																								県	A	A	B	A	・2病院については、災害等に備えた医療提供体制の確保に努めるとともに、令和元年台風19号に伴う災害派遣(精神医療チームの派遣)や、新型コロナウイルス感染症患者の受け入れなど、本県の対策に大きく寄与したことから、目標を上回る成果があると評価し、Aと判定した。 ・本部事務局については、防災訓練の実施やワクチン接種会場への医師派遣の調整などに取り組み、目標を達成していると評価し、Bと判定した。 ・上記より、総合してAと判定した。	

評価項目	中期目標期間業務実績に係る意見等																												
	R元法人自己評価				R2法人自己評価				R3法人自己評価				R4法人自己評価				法人自己評価				委員評価				委員評価に当たっての意見・指摘等				
	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合					
11 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためのべき措置																													
1 業務運営体制の確立				B				B				B				B				B	石岡副委員長				B		<p>・2病院では、定期的に運営会議や診療科長会議等を開催し、病院経営に関する情報の共有化や課題検討を行うとともに、患者満足度調査等を実施して業務改善に努めていた。</p> <p>・本部事務局では、理事会や理事長・院長等会議を主催し、経営状況や計画の進行状況を把握するとともに、病院個別の意見交換会を開催し、経営状況の改善に努めた。</p> <p>・病院再編問題の渦中で、両病院とも現場や本部は頑張ってきたと思う。</p> <p>・自己評価の内容は妥当と思われる。</p> <p>・定期的に運営会議等を開催し、情報共有を図り、適切に課題解決に取り組むとともに、グループ制の導入や各種会議、病院経営研修の開催など、効率的な業務運営の推進、経営改善に取り組んでおり、目標を達成していると評価し、Bと判定した。</p>		
																					井深委員				B				
																					郷内委員				B				
																					佐藤(和)委員				B				
																					佐藤(裕)委員				B				
																					菅原委員				B				
																					富田委員				B				
																					高永委員長				B				
																					県				B				
2 収益確保の取組	C	A			B	B			B	B			B	B			B	B			石岡副委員長	B	B				<p>【精神医療センター】</p> <p>・レセプト査定率の削減や未収金縮減に努め、収益向上に向けた積極的な取組を実施していた。</p> <p>【がんセンター】</p> <p>・経営分析システム等のベンチマークを活用し、DPCコードごとの医療資源投入量を各診療科の医師と検討し、適正化を図っていた。</p> <p>・後発医薬品への切り替えが可能な薬剤を抽出し、関連部署への情報共有を行っていた。</p> <p>【精神医療センター】</p> <p>・ボリュームの元々収益額の大きい入院収益が低調であった。</p> <p>【がんセンター】</p> <p>・コロナ禍の下、何とか頑張ったと思う。</p> <p>【精神医療センター】</p> <p>・自己評価の内容は妥当と思われる。</p> <p>【がんセンター】</p> <p>・自己評価の内容は妥当と思われる。</p> <p>・2病院では、経営戦略会議等を開催の上、様々な収益確保対策に取り組んでおり、新型コロナウイルス感染症の影響がある中で、一定の成果を上げていることから、目標を達成していると評価し、Bと判定した。</p>		
																					井深委員	B	B						
																					郷内委員	B	B						
																					佐藤(和)委員	B	B						
																					佐藤(裕)委員	C	B						
																					菅原委員	B	B						
																					富田委員	B	B						
																					高永委員長	B	B						
																					県	B	B						

評価項目	中期目標期間業務実績に係る意見等																				委員評価に当たっての意見・指摘等							
	R元法人自己評価				R2法人自己評価				R3法人自己評価				R4法人自己評価				法人自己評価					委員評価						
	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合		精神医療C	がんC	本部	総合			
3 経費節減への取組	B	A	B		B	B	B		B	B	B		B	B	B		B	B	B		石岡 副委員長	B	B	B		【精神医療センター】 ・一般競争入札やオープンカウンター方式の積極的な導入や複数年契約などの取組による経費削減を行っていた。 【がんセンター】 ・一般競争入札やオープンカウンター方式の積極的な導入やプロポーザル方式による業者選定・複数年契約などの取組による経費削減を行っていた。 【本部】 ・大規模病院を2病院運営するスケールメリットを活かした重油やLPG、コピー用紙等の一括入札を行い、経費の削減に取り組んでいた。		
																					井深 委員	B	B	B				
																						郷内 委員	B	B	B			
																						佐藤 (和) 委員	B	B	B			
																						佐藤 (裕) 委員	B	B	B			【精神医療センター】 ・様々な取組を行っていた。 【がんセンター】 ・様々な取組を行っていた。 【本部】 ・様々な取組を行っていた。
																						菅原 委員	B	B	B			
																						富田 委員	B	B	B			【精神医療センター】 ・自己評価の内容は妥当と思われる。 【がんセンター】 ・自己評価の内容は妥当と思われる。 【本部】 ・自己評価の内容は妥当と思われる。
																						高永 委員長	B	B	B			
																						県	B	B	B			【精神医療センター】については、一般競争入札等の積極的な導入により競争性を確保するなど、経費削減に取り組んでおり、目標を達成していると評価し、Bと判定した。 【がんセンター】については、複数年契約など有利な契約方法を選定し実施するとともに、後発医薬品への切り替えを進めるなど、経費削減に取り組んでおり、目標を達成していると評価し、Bと判定した。 【本部事務局】については、多様な契約方法の選定に加え、新たに医事業務の一括契約を行うなど、スケールメリットを生かした経費削減に取り組んでおり、目標を達成していると評価し、Bと判定した。

評価項目	中期目標期間業務実績に係る意見等																													
	R元法人自己評価				R2法人自己評価				R3法人自己評価				R4法人自己評価				法人自己評価				委員評価				委員評価に当たっての意見・指摘等					
	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合						
III 予算、収支計画及び資金計画																										石岡副委員長				C
IV 短期借入金の限度額																									井深委員				B	・令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症による患者減少の影響で目標を下回る指標も見受けられたものの、中期目標期間の最終年度である令和4年度は、コロナ関連補助金のみならず、診療方針見直し等の独自の経費削減策を実施することを通じて、予算を上回る実績を計上していた。 ・本部勘定として計上されている経費を2病院へ按分するなど、病院ごとの本質的な損益状況を「見える化」することについても検討する必要がある。
V 出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産の処分に関する計画																									郷内委員				B	
VI 前記の財産以外の重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画																									佐藤(和)委員				B	
VII 剰余金の使途																									佐藤(裕)委員				B	・医療収支比率が低かった。その原因について法人では「新型コロナウイルス感染症の影響」としているが、コロナ前の医療収支比率と比較してもそのような見解になるのか検証してほしい。【資料6-2 質問事項等1】
VIII 積立金の処分に関する計画																									菅原委員				B	
																									富田委員				B	自己評価の内容は妥当と思われる。
																									高永委員長				B	
																									県				B	・法人全体として、収益確保や経費削減等に取り組み、新型コロナウイルス感染症の影響がある中で、令和2年度を除き経常収支比率100%以上という目標を達成するとともに、平成28年度以降続いていた債務超過を解消したことから、目標を達成していると評価し、Bと判定した。

評価項目	中期目標期間業務実績に係る意見等																													
	R元法人自己評価				R2法人自己評価				R3法人自己評価				R4法人自己評価				法人自己評価				委員評価				委員評価に当たっての意見・指摘等					
	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合						
IX その他業務運営に関する重要事項を達成するためのとるべき措置																														
1 人事に関する事項				B				B				B				B				B				B	石岡副委員長				B	
																									井深委員				B	・文書整理や執務環境整備等の定型的業務を処理するため、有期雇用職員1人を雇用・活用していた。 ・退職者を再雇用し、経営効率の高い業務運営体制の構築に努めていた。 ・事務職員を対象とした人事評価制度を試行実施していた。
																									郷内委員				B	
																									佐藤(和)委員				B	
																									佐藤(裕)委員				B	・病院再編問題の渦中ではあるが、現在の医療の提供には最善を尽くさなければならない。
																									菅原委員				B	
																									富田委員				B	・自己評価の内容は妥当と思われる。
																									高永委員				B	
																									県				B	・法人全体として、医療従事者の迅速な採用や定型的業務における有期職員の活用、障害者雇用の推進などに取り組んでおり、目標を達成していると評価し、Bと判定した。
2 就労環境の整備				B				B				B				B				B				B	石岡副委員長				B	
																									井深委員				B	・理事長・院長等会議、事務局連絡調整会議、事務局グループリーダー会議を通じて、2病院との情報共有や業務調整等を行っていた。 ・職員のストレスの程度を把握し、職員自身のストレスへの気付きを促すとともに、職員がメンタルヘルス不調となることを未然に防止することを目的にストレスチェックを実施していた。 ・各種ハラスメントの防止のため、管理者・監督者合同研修において研修を行うなど、ハラスメント行為のない職場環境の構築に努めていた。
																									郷内委員				B	
																									佐藤(和)委員				B	
																									佐藤(裕)委員				B	・病院再編問題の渦中であり、新病院建設場所のことを考えると職員の中には不安な気持ちを持っている人もいると思う。適切に情報を開示しスムーズな再編につなげてほしい。
																									菅原委員				B	
																									富田委員				B	・自己評価の内容は妥当と思われる。
																									高永委員				B	
																									県				B	・法人全体として、各種会議による情報共有や職員の健康管理対策、ハラスメントの防止等に取り組むとともに、令和2年度から勤務管理システムを導入し、適切な労務管理を行うなど、就労環境の整備に努めており、目標を達成していると評価し、Bと判定した。

評価項目	中期目標期間業務実績に係る意見等																									
	R元法人自己評価				R2法人自己評価				R3法人自己評価				R4法人自己評価				法人自己評価				委員評価				委員評価に当たっての意見・指摘等	
	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合	精神医療C	がんC	本部	総合		
3 病院の信頼度の向上	B	A			A	A			B	B			B	B			B	B			石岡委員	C	C			
																					井深委員	B	B			
																					郷内委員	C	B			
																					佐藤(和)委員	B	B			
																					佐藤(裕)委員	B	B			
																					菅原委員	B	B			
																					富田委員	B	B			
																					高永委員長	B	B			
																					県	B	B			